

## 三松正夫記念館（昭和新山資料館）のガイドライン

### 1 設立の経緯と目的

- ① 施設設立年 昭和44(1969)年6月1日 昭和新山資料館開館  
昭和63(1988)年4月23日 三松正夫記念館と改称・移設
- ② 施設設置者 三松三朗
- ③ 管理・運営 三松三朗
- ④ 場所選定の事由 昭和新山山麓で自然公園法上建造物設置可能場所
- ⑤ 年間来訪者（有料） 約6,000名  
戦争世代、小中学生、自然科学系大学、ジオツアー  
無償の屋外展示物観覧者は250万人？

### 2 展示物のアピール・ポイント

1)世界大戦末期、社会情勢としては火山観測調査を許容せざる状況下にあつて、素人が自然災害との遭遇を地球を科学する千載一遇のチャンスと捉え、世の非難を乗り越えて火山に向き合ったという努力と姿勢

2)箱物は世界一小規模であるが、屋外展示物（昭和新山）を含めると世界一

### 3 復興について 地域の災害環境を理解し、「災害は繰り返す」（災害は決して此の地では無規則性で発生するのでない）を軸足に温故知新で子孫に伝える必要性がある。

### 4 サポーター 思いを共有する幅広い分野の仲間

- 5 施設外活動 1)3の目的で災害遺構をジオパークのサテライトとして保全・活用
- 2)事故防止のため立入規制となった災害遺構区域に「火山マイスター」資格を導入、学習目的にガイド
- 3)観光客、一般人を含めたジオツアー
- 4)学校教育の総合学習的活動の支援

### 6 地域住民の参加、参加形態

個人的活動は何時の日か終焉がある。自分のノウハウを次世代に引き継ぐために各種の組織を結成し、その中で発掘・育成した人材が役割分担で活動

### 7 他の防災活動・語り継ぎ活動と施設の関わり

行政・各種団体・火山専門家等の企画するイベント等に積極的に参画、情報を提供

### 8 将来の防災に向けた観点

2009年8月、ユネスコが支援する「世界ジオパーク」として当地で推進してきた「洞爺湖・有珠山ジオパーク」が日本第1号に認定された。域内の全ての関係施設をジオパーク・コア施設と位置づけ、連携して情報発信につとめ、より奥行き深いジオパーク構築に尽力。

### 活動関連URL

洞爺湖・有珠山ジオパーク <http://www.toya-usu-geopark.org/>

そうべつエコミュージアム友の会 <http://www005.upp.so-net.ne.jp/usuvolcano/>